

AIPF（ASEAN インド太平洋フォーラム）での 岸田総理大臣 スピーチ

1 はじめに

御来賓の皆様、Selamat pagi.（スラマット パギ）。この度、日本ASEAN 友好協力 50 周年、日・インドネシア外交関係開設 65 周年の記念すべき年に、日本の総理大臣として、インドネシアを訪問し、この ASEAN インド太平洋フォーラムにおいて、お話しできることを非常に光栄に感じております。

インドネシアをはじめとする ASEAN 諸国の飛躍的な経済発展にも後押しされ、インド太平洋地域は、世界経済を力強く牽引しています。インドネシアが本年の ASEAN 議長国として、「成長の中心 (Epicentrum of Growth)」をテーマに掲げたのは、時宜を得たものと考えます。

また、今回のフォーラムにおいて、日本から多くの協力プロジェクトが紹介されることを誇らしく思います。

2 FOIP の新たなプランと AOIP

ASEAN の掲げる「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック (AOIP)」と日本の進める「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」は、開放性、透明性、包摂性、国際法の尊重といった本質的な原則を共有しています。

ASEAN 中心性・一体性を一貫して支持してきた日本は、2019 年にいち早く AOIP への全面的な支持を表明しました。そして、本日ここに私は、「日 ASEAN 包括的連結性イニシアティブ」を発表し、日本として 6 つの分野での連結性強化の協力を進めていく旨、宣言致します。

3 日 ASEAN 包括的連結性イニシアティブ概要

6 つの分野と具体的な考えは次のとおりです。

第一に、交通インフラの整備です。港湾、道路、鉄道、空港を整備し、ASEAN 諸国の人の流れ、物の流れを促進していく。我が国が現在実施しているプロジェクトは、約 2 兆 8 千億円分にまで拡大しています。ハード面での協力に加え、技術協力によるソフト面での協力を行い、日本の技術や知識を継続的に提供しています。

第二に、デジタル・コネクティビティです。日本は、ASEAN 各国の更なるデジタル化、デジタル技術を用いた地域の連結性強化に協力していくとともに、サイバー空間の安全を守ることに貢献していきます。

第三に海洋協力。海でつながった日本と ASEAN 諸国の連結性を強化する上で重要な要素です。我が国は海上保安機関や海上警察への研修の実施、巡視船の供与など通じて、海上法執行能力の強化を支援していきます。

第四は、サプライチェーンの強靱化です。新型コロナのパンデミックやロシアのウクライナ侵略を受け、物資の安定的な流通の確保や食料安全保障が重要な課題となっています。我が国は、ASEAN 地域のサプライチェーン強靱化に貢献し、共に危機に強い経済を築いていきます。

第五に、電力の連結性です。急速な経済発展を遂げている ASEAN 地域では、電力需要も増大しています。安定的な電力供給を確保するため、我が国は、マスタープランの策定や研修などを通じて、電力の連結性向上を支援していきます。

最後に、「人・知の連結性」です。社会の発展を支えるのは、「人」であり、人が持つ「知」です。我々は、幅広い分野の人材交流や研修事業などを通じて、ASEAN 諸国の人材を育成するとともに、日本と ASEAN 諸国の人々のネットワークを強化していきます。

日本は、これらの分野において、今後3年間で5,000人の人材育成を行います。ASEAN 諸国と技術協力を進め、ネットワークを強化することで、我が国も ASEAN と共に成長していく。日本と ASEAN が新たな社会的価値を共創できる未来を築いていきたいと思えます。

4 日本 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議

本年12月、日本 ASEAN 友好協力 50 周年の締め括りに、ASEAN 諸国の首脳を東京にお招きし、日・ASEAN 特別首脳会議を開催します。そして、その場で、将来の日 ASEAN 関係と協力の大きな方向性を示すビジョンを共同で打ち出したいと考えています。

政治・安全保障、経済、文化・社会の各分野にわたる幅広い協力のイニシアティブを打ち出すとともに、魅力ある文化・人的・知的交流や日本語教育支援の取組を更に推進します。

こうした取組を通じ、日本と ASEAN の「輝ける友情」を次世代につなぎ、新たな時代を我々の「輝ける機会」とすべく、皆さんと共にさらに前進していきましょう。

Terima kasih (テリマカシ)。